

わたしたちが自分らしく 学び続けられる まちづくりプラン!

第2次島田市生涯学習推進大綱
平成31年 島田市



..... 策定に当たって

“学びの広がり地域をつくる”

社会の多様化・高度化に伴い、市民一人ひとりが、生涯を通じた学びによって自己実現を図り、地域社会で活躍できる環境づくりが求められています。

そのためには、地域の人たちと行政が連携・協働し、子どもからお年寄りまでライフステージに応じた多種多様で主体的な学習を展開していくことが必要となってきます。さらに、学んだ成果を社会活動に役立てていくことも課題となります。

島田市ではこのような課題を解決するために、個人による学びから仲間同士の学び、さらにこの学びによって生まれたつながりを地域全体に広げていくことによる、市民主体の地域づくりが必要であると考えます。

こうした理念により、生涯学習推進協議会委員を中心に、高校生や大学生のほか、様々な立場の市民の皆様と協議を進め、島田市独自のライフステージ『しまだ型人生区分』を創設しました。ここに例示した人生の目標や課題が、皆様一人ひとりの生涯学習の道しるべとなることを心より願います。

結びに、この大綱の策定にあたり、約3年もの歳月を掛けて御協議いただきました島田市生涯学習推進協議会の皆様をはじめ、貴重な御意見を賜りました関係各位、市民の皆様にご心から御礼申し上げますとともに、生涯学習社会の更なる進展に向け、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成31年3月

島田市長 染谷 絹代

目次

<本 編>

1. はじめに	1
2. 大綱をつくる目的は	3
3. 国や県が進める生涯学習	5
4. 今までの大綱を振り返る	7
5. 島田市の生涯学習がめざす姿	9
6. 基本理念	10
7. めざす3つの姿	11
8. ライフステージ『しまだ型人生区分』	13
9. 『しまだ型人生区分』と各区分の目標例	15
10. 推進計画	21
11. 目標に応じた取り組み	22
12. 推進計画体系図	31

目次

<資 料>

1. 島田市生涯学習推進協議会要綱…………… 33
2. 島田市生涯学習推進協議会委員名簿・コメント…………… 35
3. 島田市生涯学習推進大綱策定の経緯・様子…………… 38

はじめに

生涯学習ってなんだろう？

生涯学習とは、私たち一人ひとりが、自分の夢をかなえ、より良い人生を送るために、自分の意志で、その目標に適した手段や方法を選び、生涯を通して学び続けることをいいます。

私たちが成長していく道のりには、それぞれの人生の節目（ライフステージ）に、乗り越えなければならない目標があります。

乳幼児期には、親から愛されることや言葉を覚えはじめ、少年期では学校で知識や仲間とのコミュニケーションを学び、青年期では自立に向けて、より広く深く学んでいきます。そして、壮年期、高齢期と、一生を終えるまで、学びによって自分を高め続け、さらには、自分の学びを身近な人たちや地域の人々に広めていくことで、学びの循環をつくり、地域とともに豊かで持続的な幸せを実現していくことができると考えます。

生涯学習活動は、家庭教育や学校教育、社会教育など、意図的・組織的に行われるものだけでなく、例えば私たちが、図書館で本を読んで新しい知識を得たり、博物館で刀剣を鑑賞して感動したり、公民館で練習してダンスが上手になるなど、日常の何気ない活動まで、その全てを含むものです。

この生涯学習を進めていくためには、誰もが、いつでも、どこでも、自由に学ぶことができ、その学びの成果を活かして評価されることのできる生涯学習社会の実現を目指して、私たちが総がかりで取り組んでいくことが大切です。



大綱をつくる目的は

ひとり^{いち}1生涯学習への道しるべ

島田市が実施した『生涯学習に関するアンケート』の結果では、生涯学習が「必要」「どちらかといえば必要」と答えた人が8割以上いる一方で、生涯学習を「したいと思う」と答えた人は6割以下となり、必要性と実際にしたいと思う気持ちに差があることがわかります。

また、学んだことを地域や社会で活かしていると答えた人は3割程度で、まだまだ学びの循環が生まれているとはいえない状況です。

さらに、学びを地域や社会に活かしていない理由として、「あくまで趣味の範囲である」と答えた人が3割近くあり、活かすために必要なこととして、「一緒に活動する仲間がいること」をあげた人が半数近くいました。

このアンケート結果からも、生涯学習が地域に広がり、学びの好循環が生まれるためには、個人で楽しむ範囲にとどまっている趣味の学びを、仲間との学びにつなげ、さらに地域に広げていくことが必要だとわかってきました。

それぞれがさまざまな価値観を持ち、人生の目標や地域が抱える課題が多様化・複雑化する中で、こうした学びの循環を生んでいくために、まず、一人ひとりが自分の人生の目標を明確にし、それを達成するために適切な学びを選択でき、それが仲間との学び、さらに地域への学びに広げられるような、「ひとり^{いち}1生涯学習」のための「道しるべ」が必要と考えました。

この大綱は、その「道しるべ」として、生涯学習推進協議会委員の皆さんを中心に、多くの市民の方々と話し合いながら作りました。



国や県が進める生涯学習

国が進める生涯学習

自立（一人ひとりが、多様な個性・能力を伸ばし、充実した人生を主体的に切り開いていくこと）・協働（個人や社会の多様性を尊重し、それぞれの強みを活かして、共に支え合い、高め合い、社会に参画すること）・創造（自立・協働を通じて更なる新たな価値を創造していくこと）が可能となるような「生涯学習社会の構築」を目指し、人口減少・高齢化などの社会状況の変化や、子どもや若者の学習・生活面の課題などの教育をめぐる状況変化に取り組むべき課題としています。

また、教育政策の重点課題として「人生100年時代」を豊かに生きていくために「人づくり革命」「生産性革命」の一環として生涯にわたる学習や能力向上が必要とし、教育を通じて生涯にわたる一人ひとりの「可能性」と「チャンス」を最大化することを今後の教育政策の中心に据えて取り組むとしています。

その目標として、「人生100年時代」を見据えた生涯学習の推進、人々の暮らしの向上と社会の持続的発展のための学びの推進、職業に必要な知識やスキルを生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進、障害者の生涯学習の推進の4つをあげています。

県が進める生涯学習

静岡県における教育の基本理念では、個人として自立し、人との関わり合いを大切にしながら、よりよい社会づくりに参画し行動する人「『有徳の人』の育成」を掲げており、その重点取組方針の一つとして、学校、家庭、地域、企業等の連携・協働による社会総がかりの教育に取り組むとともに、生涯を通じた多様な学習ニーズへの適切な支援を行う地域ぐるみの教育を推進しています。

『静岡県教育振興基本計画』の中では、「生涯学習を支援する教育環境の充実」として、一人ひとりが生涯にわたり主体的に学び続けることができるよう、適切な支援の充実を図る必要があることから、地域の学習拠点となる公民館及び生涯学習施設等の社会教育関係施設の充実、社会教育関係指導者の養成、障害の有無や国籍、年齢等にかかわらず、誰もが学習した成果を生かし、よりよい社会づくりに参画できる環境づくりなどの推進を掲げています。



今までの大綱を振り返る

これまでの取り組みと推進協議会検証結果

島田市は、島田市生涯学習推進協議会が、2年間の検討を重ねて提出した提言を受けて、平成20年4月に第1次島田市生涯学習推進大綱を作りました。

さらに、生涯学習推進協議会では、策定翌年度の平成21年度から平成26年度まで、毎年度、その推進状況の検証を行っていきました。

こうした検証結果を踏まえ議論した中で、今までの大綱は、市民の生涯学習のあらゆる場면을網羅的に捉えた隙のない大綱になっているものの、推進の主体が行政中心になっていて、生涯学習の理念である市民の主体的な学びにつながっていないのではないか、との意見が多く出されました。

そこで、今回の大綱では、人生の節目（ライフステージ）ごとに乗り越える目標を例示することで、一人ひとりが、その目標を達成するために適切な学びを選び、取り組んでいけるような「道しるべ」としての役割を持たせました。これによって、どこか他人事だった生涯学習が、自分にとって身近で現実的なものになってくるものと期待します。

取り組みの方向性

検証は、これまでの大綱の4つの柱に分けて行われました。

その結果、「人づくり」については、健常者も障害者の活動に理解を深めることや、自分に役立つ情報を分かりやすく伝える取り組み、高齢者が活躍できる仕組みづくり、一芸に秀でた人の情報を収集・発信することなどの必要性が指摘されています。

「和づくり」については、核家族化や近所づきあいの希薄化によるコミュニケーション不足が進んでいる中では、公民館などで地域の人たちが交流を深められるイベントや親子・家族で参加できる講座の開催をはじめ、インターネットの利活用講座など、誰もが気軽に参加できる取り組みが必要としています。

「地域づくり」については、コミュニティ委員会の活動紹介を積極的に行っていくことをはじめ、自然体験施設の周知、文化事業担当課など市の関連部署との連携強化、公共施設の利用者のマナー向上の必要性などがあげられています。

「環境づくり」については、公共施設の一層の整備を進めるとともに、利用者を増やす工夫や運営体制の強化が必要としています。

島田市の生涯学習がめざす姿


基本理念

わたしたちが自分らしく学び続けられるまち

めざす3つの姿

- ①学びでこころ豊かな私になります。
- ②みんなの学びでこころをつなげます。
- ③こころのつながりで学びを活かし豊かなまちをつくります。

島田市の生涯学習推進においては、基本構想として基本理念（メインスローガン）を中心とし、基本理念を達成するため、「めざす3つの姿」（サブスローガン）を掲げて、生涯学習推進のための目標として施策の体系と対応させます。

「めざす3つの姿」を達成することにより、市民の学びをつなぎ、活かすための「学びのサイクル」（1）ができあがると考えます。自分づくり・人づくり・地域づくりは、そのまちに住む人が自分たちで考えて学びあい、知識・経験を出し合って、協働作業でやっていくことが大事であり、自分たちが明るいまちづくりに関わっている実感が得られるよう施策を行っていく必要があります。

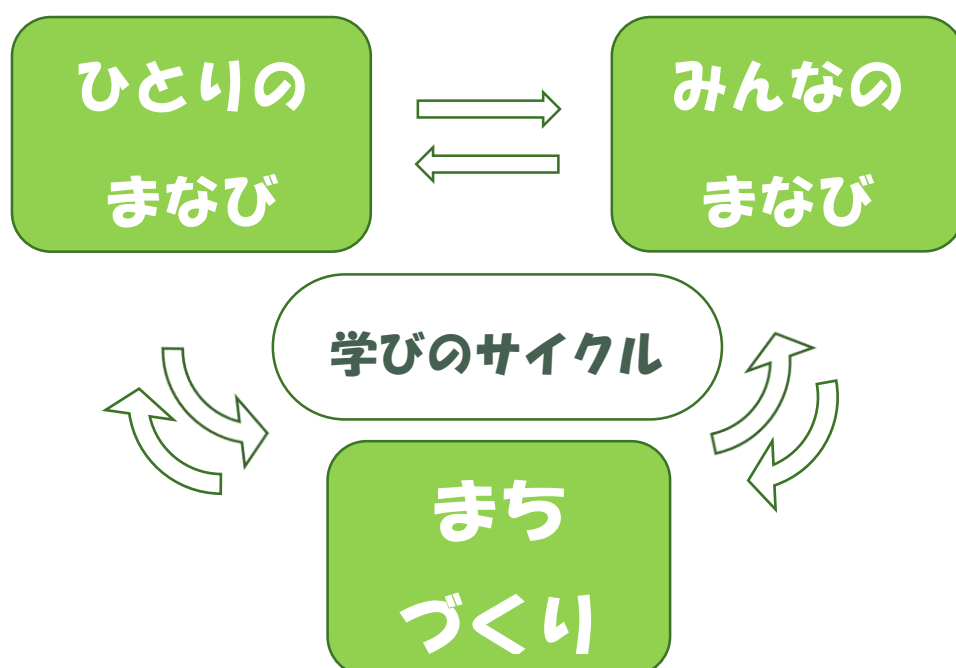
基本理念（詳細）

わたしたちが自分らしく学び続けられるまち

全ての市民が生を受けてから生涯を終えるまで、こころ豊かで、生きがいをもって学び続けることができる社会をつくることが私たち島田市民の願いです。

私たちの目指す生涯学習は、市民一人ひとりが自分らしく学び続けることが基本です。「こころの豊かさ」や「よりよい生きがい」は、人それぞれ異なります。様々な価値観や願いを持った市民が、互いに尊重し合い、思いやり、支え合い、励まし合い、感謝し合い、楽しみながら学び続けることで、より自分らしく豊かな生きがいを感じとることができると思います。そのような願いを込めて、スローガンを「わたしたちが自分らしく学び続けられるまち」としました。

(図 1)



めざす3つの姿

①学びでこころ豊かな私になります

最初に、私たち個人が自立して学びを行うことにより、自分の日々の生活に活かし、また、「よりよい生きがい」を見つけて自分自身の高まりを感じ、自己実現へつなげていくことを目指します。

仕事・家事・育児が忙しく時間がない、学ぶきっかけがないなど、現代の生活環境の中でも自由に学ぶことができる環境が必要です。

少子高齢化の進行に伴う様々な社会的課題に対応できるように、高齢者が学びの場を通じて積極的に社会に参加し、知識や技能を若い世代に伝えていく仕組みづくりが重要です。また、子育て中の親同士が、周辺環境の中での交流を通して学ぶことにより、グループにおける自分自身の立場を確立し、主体的に問題解決を図ることができます。



②みんなの学びでところをつなげます

次に、家庭、学校、地域社会、職場など、あらゆる場面で仲間と学び合い、様々な活動を通してより多くの人と関係を深め、活動の幅を広げることにより、人と人、人と地域、世代と世代がつながっていくようになります。

こうした交流により、個々の楽しみが仲間全体の楽しみとなり、新たな学びや生きがいをもたらします。そして仲間と共感することによって更なる高まりを感じるような環境づくりを目指します。

③こころのつながりで学びを活かし 豊かなまちをつくります

最後に、学びによって生まれたつながりが、地域全体に広がり、まちに住む人たちが自分たちで考え、学びを地域のために活かし、豊かなまちをつくることを目指します。こうして実現した豊かなまちは、学びの最初のステップである個人個人の主体的な学びを助長し、さらなる学びの循環を生み出します。

ライフステージ

『しまだ型人生区分』

ライフステージ 『しまだ型人生区分』ってなんだろう？

ひとの一生は、常に「学び」とともにあり、それぞれの人生の節目（ライフステージ）ごとに乗り越えるべき様々な学びの目標や課題がある、と考えます。この目標や課題を、そのステージごとに明確にすることで、適切な学びの手段や方法が選びやすくなると考え、島田市独自の『しまだ型人生区分』を設定し、その区分に応じた理念的な目標を1つの目安として作りました。



乳幼児期

少年期

青年期

年齢

0歳

3歳

7歳

18歳

31歳

45歳

乳児期

幼児期

少年期

青年期

青年期

(前期)

(後期)

ライフステージ区分の目標

乳幼児期	愛されることを喜び 豊かな心が育ちます。
少年期	仲間と一緒に思いやりの心を養います。
青年期	夢に向かい自分の人生を歩みます。
壮年期	現実的な将来設計と向き合い 人生の ^{いただき} 頂を目指します。
高齢期	健康を気づかい 人生の学びを次世代に伝えます。

参考として各期の目標を次ページに例示します



壮年期

高齢期

45歳

56歳

65歳

76歳

88歳

100歳

せいそう

青壮期

(※1)

壮年期

(前期)

壮年期

(後期)

高齢期

(前期)

高齢期

(後期)

黄金期

(※2)

※1 青壮期・・・「壮年期入り口」としての位置付けで、壮年としてのスキルを獲得しているものの、社会的には若手としての振る舞いが求められることが多い。

※2 黄金期・・・100歳前後になってもなお若々しく健康的に活躍する高齢者。

『しまだ型人生区分』と各区分の目標例

島田市生涯学習推進委員のみなさんと話し合っ考えた、各区分の目標例です。

この表を参考にして、あなたにとっての人生区分における目標を考えてみてください。

		乳 幼 児 期	
年齢		0 歳	3 歳
		乳児期	幼児期
個人	学びでこころ豊かな私になります	<ul style="list-style-type: none"> 愛されることを喜びます 人間らしい生き方に向かって、はじめの一步を踏み出します 	<ul style="list-style-type: none"> 自然にふれあい、感性豊かになります 元気にあいさつします
	みんなの学びでこころをつなげます	<ul style="list-style-type: none"> 友達や物の名前を理解します 親子の信頼を深めます 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と遊びます 集団行動を学びます 交通ルールを守ります
	豊かなまちをつくり活かし	<ul style="list-style-type: none"> 初めて家族以外との人間関係を学びます 基本的な生活習慣を身に付けます 困難なことに出会うと助けを求めます 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい礼儀作法を身に付けます 小さい子や弱い子の世話をします 子供同士のトラブルの解決を学びます 地域の行事に参加します
	社会	<ul style="list-style-type: none"> 動物、植物とふれあい、生き物を大切にする心を育てます 	

『しまだ型人生区分』と各区分の目標例

少年期

年齢 7歳

18歳

少年期

個人

学びでこころ豊かな私になります

- 遊びや勉強を通して体験する喜びを感じます
- スポーツを通して体力をつけ、友情やルールを守る心をつちかいます
- 強くたくましい心をつちかいます
- 芸術に興味を持ち、美しいものを愛する心をふくらめます
- 地域の魅力を楽しみ、郷土愛を育みます

みんなの学びでこころをつなげます

- 仲間や家族との思い出を作ります
- 友達の親など世代間での交流から学びます
- 恋をします

社会

豊かなつながり学びを活かし
まちなちをつくりまします

- ルールを学びます
- 人間関係を作ります
- 社会への批判能力や社会貢献の必要性を学びます
- 地域文化や伝統行事を継承します
- ボランティア活動に積極的に参加します

『しまだ型人生区分』と各区分の目標例

島田市生涯学習推進委員のみなさんと話し合っ考えた、各区分の目標例です。

この表を参考にして、あなたにとっての人生区分における目標を考えてみてください。

		青年期	
年齢		18歳	31歳
		青年期（前）	青年期（後）
個人	学びでこころ豊かな私になります	<ul style="list-style-type: none"> 家庭を持つための学習をします 	<ul style="list-style-type: none"> 家族を大切にします
	みんなの学びでこころをつなげます	<ul style="list-style-type: none"> 教養を高めます 健康づくりをします 社会人としてのマナーを身につけます 一人の人間として、責任を持って社会と接します 趣味を持ち、生活を楽しみます 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもと共に学びます 同年代の親から学びます
		<ul style="list-style-type: none"> 未来を共に創造できる仲間を作ります 結婚や将来の生活設計を仲間と学習します 	
社会	こころのつながりや学びを活かす豊かなまちをつくりまします		<ul style="list-style-type: none"> リーダーとしての役割を学びます
		<ul style="list-style-type: none"> 地域と関わります 職業集団や社交集団の学びを守ります 地域づくり、まちづくりの先頭に立ち活躍します 仕事に誇りを持ち、社会の一員として貢献します 	

『しまだ型人生区分』と各区分の目標例

		壮年期			
年齢		45歳	56歳	65歳	76歳
		青壮期	壮年期（前）	壮年期（後）	
個人	学びでこころ豊かな私になります	<ul style="list-style-type: none"> 退職後の暮らしについて考えます 働くことを充実させます 体力維持を考えます 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事以外の時間を見つめ直します 人と人とのつながりを深めます 新しくやりたいことを見つけます 	<ul style="list-style-type: none"> 退職後も適応できる仕事を見つけ働き続けます 身体的な衰えに対し体力づくりをします 身体や脳の老化防止に向けての準備をします 	
	みんなの学びでこころをつなげます	<ul style="list-style-type: none"> 他人のために何かをします 若者との付き合い方を学びます 青少年へ助言をします 責任ある家庭を作ります 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい仲間を作ります 子育てを応援します 配偶者と老後について語り合います 	<ul style="list-style-type: none"> 退職後の生きがいを見つけます こころと身体の変化に適應します 配偶者の老いに寄り添います 	
	豊かなつながりで学びを活かす	<ul style="list-style-type: none"> 地域のことを考えます 地域の中で住民から育てられ成長します 	<ul style="list-style-type: none"> 地域での立場を確立します ボランティアデビューします 	<ul style="list-style-type: none"> 地区役員での役割を増やします ボランティア活動などで地域へ貢献します 人の役に立てる学びをします 	
社会					

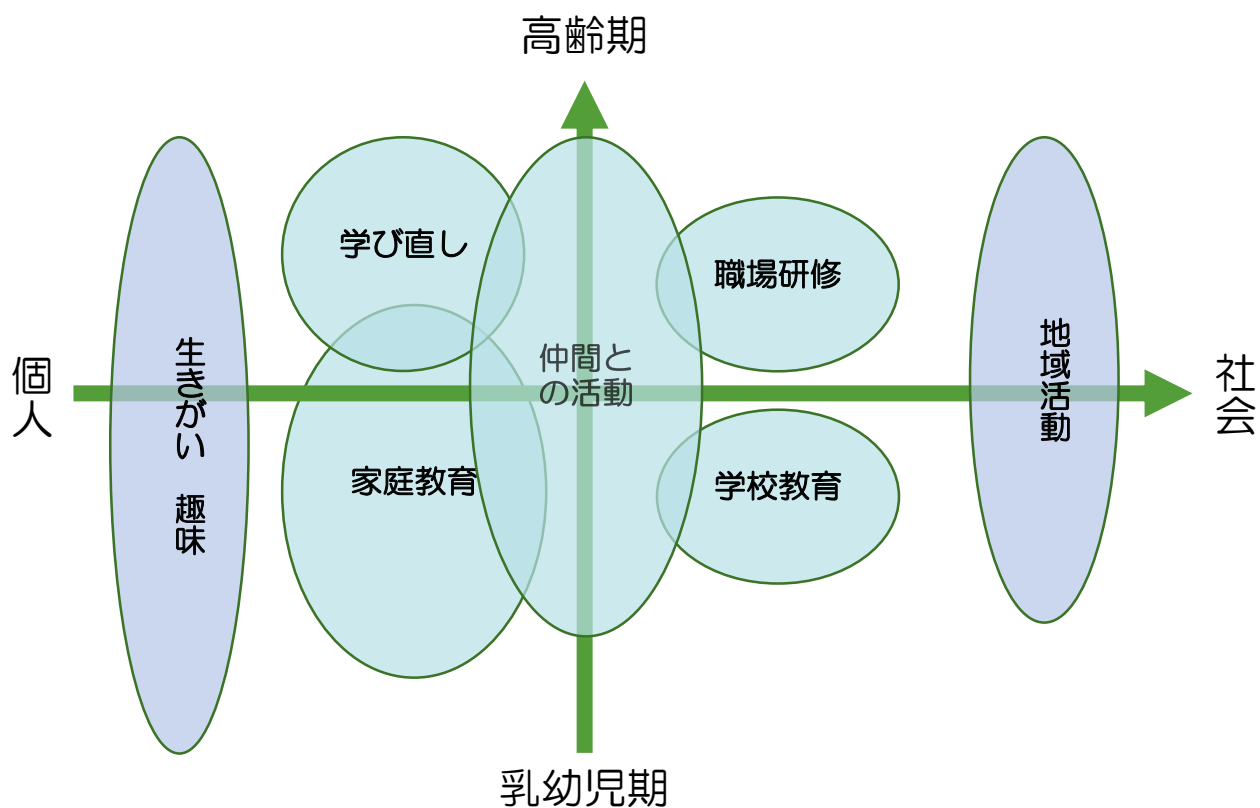
『しまだ型人生区分』と各区分の目標例

島田市生涯学習推進委員のみなさんと話し合っ考えた、各区分の目標例です。

この表を参考にして、あなたにとっての人生区分における目標を考えてみてください。

		高 齢 期		
年齢		76 歳	88 歳	100 歳
		高齢期（前）	高齢期（後）	黄金期
個人	学びでこころ豊かな私になります	<ul style="list-style-type: none"> 自分らしく生きてきた人生を見つめ直します 	<ul style="list-style-type: none"> 身体や脳の老化と向き合い、進行しないよう努めます 	<ul style="list-style-type: none"> すべてに感謝します
	みんなの学びでこころをつなげます	<ul style="list-style-type: none"> 新しいことや新しい価値観、概念を学び楽しく挑戦していき、楽しみを持ち続けます 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な運動をし、生きがいを持って心身の健康に努めます 知識や技術を活用して、自分のことは自分でやれるように工夫します 	
		豊かなつながりで学びを活かす	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人と付き合います 子、孫、ひ孫と仲良くします 	<ul style="list-style-type: none"> 助け合いのつながりを作ります 配偶者や親しい人との別れに向き合います
社会		<ul style="list-style-type: none"> 多世代に経験をつなげます 充実した日々（生きがい、楽しみ）を過ごします 		
		<ul style="list-style-type: none"> 人生の経験を伝え、地域を温かく見守ります 昔の遊びや伝統を、次世代に伝えます 	<ul style="list-style-type: none"> 健康でいることにより、みんなの目標となります 	
		<ul style="list-style-type: none"> 経験を土台にして前向きに生活します 地域や世間に感謝しながら過ごします 		

学びの体系



基本理念と「めざす3つの姿」を横軸とし、ライフステージ『しまだ型人生区分』を縦軸として考えると、私たちが行っている学びは、上記の図のような「学びの体系」に整理することができます。

推進計画

構成

推進計画では、「めざす3つの姿」と『しまだ型人生区分』に示された目標に応じた施策と取り組みを展開していきます。

①現状の把握

平成30年に公民館等で講座の受講をしている方を対象に『生涯学習に関するアンケート』を実施しました。アンケート回答結果を考察し現状の把握をした上で、推進すべき事業を検討していきます。

②ライフステージにおける取り組み

『しまだ型人生区分』の目標に応じて、ライフステージごと取り組むべき事項を整理します。

③主な事業

具体的に①②の整理事項を基に、島田市での生涯学習に関する主な事業を掲載します。

推進期間

この大綱は、第2次島田市総合計画と整合性を図りながら、生涯学習を推進していきます。推進期間は平成31年度から8年間です。

目標に応じた取り組み

① 学びでこころ豊かな私になります

現状の把握

生涯学習のアンケートによると、どのような学びをしているか聞いたところ、趣味的なものやスポーツの割合が高く、また、生涯学習をしている理由を聞いたところ、生きがいや楽しみ・健康体力づくりの割合が高く、自分らしい生き方を求めて学習を受けている人の支援が必要です。

ライフステージにおける取り組み

『しまだ型人生区分』の少年期以降でのライフステージでは、スポーツを通じての体力づくりと健康維持を目標としています。また、体の健康は心の健康にもつながっていくため、生涯スポーツの意義や重要性を考えていきます。

また、乳幼児期には人生のはじめの一歩として様々なことを学んでいきます。成長していく中で基礎的なことを学ぶためには、家庭での学びは必要です。基礎的な感情と言葉の関係を形成するためにも、絵本や童話などで多様な感情の学びを受けることも重要です。

主な事業

事業種別	(※) 番号	事業名	概要
しまだ楽習 の推進	65	しまだ楽習 センター開講 講座	世代を超えた交流により生涯学習としての「しまだ楽習」の推進を図るため、しまだ楽習センターを拠点とした各種講座を開講しています。
東海道金谷 宿大学の活 用	66	東海道金谷宿 大学	東海道金谷宿大学は、生涯において自由に学びあう機会を提供するとともに、豊かな人間性を育む生涯学習社会の実現を目指して実施しています。「教えたい人」が教授となり講座を開設し、「学びたい人」が学生となり受講するものです。
ボーイスカ ウト・ガール スカウト の支援	73	ボーイスカウ ト・ガールス カウト支援	島田地区のボーイスカウト・ガールスカウトの事業を支援するため、予算の範囲内において補助金を交付しています。

(※) 別冊『生涯学習を推進させる164の事業』における事業番号

事業種別	番号	事業名	概要
生涯スポーツの普及	1	ニュースポーツ普及	健康増進と体力の向上を目的に、ニュースポーツを市民に普及定着させるため、各種ニュースポーツの教室を開催します。 また、地域団体の要請により、地域で開催されるスポーツ教室にスポーツ推進委員を派遣します。
	2	ジュニアスポーツクラブ	市内の小学生（4年生以上）を対象に、各競技団体の指導によりジュニアスポーツ教室を開催し、競技力の向上と競技人口の拡大を図ります。
読書活動の支援	26	紙芝居と絵本の読み聞かせ	各図書館において、幼児から小学校低学年までの子どもたちが本に親しむきっかけを作り、本によって感受性を育むとともに想像力を豊かにし、本が心の成長の糧になっていくようサポートします。
	31	ブックスタート	7ヵ月児健康相談の場に図書館課の職員が出席し、保護者に対し、絵本を親子で読むことの大切さの説明や、おすすめ絵本の紹介を行います。

その他の事業は別冊『生涯学習を推進させる164の事業』に掲載

②みんなの学びでここをつなげます

現状の把握

生涯学習のアンケートによると、生涯学習をしている理由として、個人的な理由のほかに、地域活動やボランティア活動に役立てるといった地域や社会へ向けた活動に意義を見出している人も多数いました。このことから、地域社会に関する基礎知識や市政について学ぶ環境づくりの支援をしていく必要があると考えました。

また、地域をより活性化させるために必要と感ずることを聞いたところ、「初めてでも参加しやすい環境づくり」の割合が高いため、子を持つ親など、同じ立場の人が集まる環境に身をおいて学んでいけるような支援が必要です。

ライフステージにおける取り組み

『しまだ型人生区分』の目標は、どのライフステージにあっても集団行動を伴っているため、自分自身と他者との関わりをどう形成していくかが重要です。

人生においては、家族・友人・仕事の同僚など、生活上のつながりや集団がありますが、共通の学びで新たな仲間とつながることによって、より多くの人との学び合いが生まれてきます。

また、年齢・性別に関係なく、各集団やグループが一堂に会して成果を発表できる機会をつくり、発表を通して他グループと相互の交流を深め、さらに生涯学習活動への参加を呼びかけることなどにより、世代間の交流も図られると考えます。

主な事業

事業種別	(※) 番号	事業名	概 要
生涯学習の 成果発表	95	フェスタ しまだ	生涯学習活動を行う市民が一堂に会し、各団体の実践活動や発表を通して、相互の交流と活動の活性化を図り、多くの市民に生涯学習活動への参加を呼びかけます。ステージ発表、展示、フリーマーケット、バザーなどを実施しています。
家庭教育の 推進	101 ～ 103	子育て広場	ペアレントサポーターを配置し、親子が自由に遊び、地域の親子同士が自由に交流するとともに、子育てに関する情報交換・仲間づくり等を推進し、子育てネットワークの形成を図ります。
	104	家庭教育 学級	親同士が交流し、子育ての悩みなど話し合い、家庭教育についての講座など体験を通して学びを深めます。

(※) 別冊『生涯学習を推進させる164の事業』における事業番号

事業種別	番号	事業名	概要
子ども会の支援	96	子ども会支援	各地の子ども会が加入する市子ども会連合会へ補助金を交付することにより、子ども会活動を支援しています。
子育て支援団体の充実	90	子育て支援ネットワーク運営	子育て支援団体が、自分達の情報を共有し合い、連携して大きなネットワークを作ることにより、支援の充実を図ります。
市政出前講座の充実	85	ふれあいしまだ塾	市の施策や公共サービス等を知っていただくために、市民グループや各種団体が開催する会合の場に職員等を派遣します。
スポーツ少年団の支援	82	スポーツ少年団支援	島田市スポーツ少年団に所属する異種競技の団員が、スポーツを通じて交流を行う“島田市スポーツ少年団交流大会”や、姉妹都市である富山県氷見市・長野県大町市・静岡県島田市の三市のスポーツ少年団の団員同士が交流を深め、今後もさらに発展することを目的に“姉妹都市スポーツ少年団交流会”を開催するなど、支援の充実を図ります。

その他の事業は別冊『生涯学習を推進させる164の事業』に掲載

③こころのつながりで学びを活かし 豊かなまちをつくります

現状の把握

生涯学習のアンケートによると、生涯学習の充実または新たに始めるには何が必要か聞いたところ、「自己の意識改革」という回答が高い割合を占めていました。こうした意識が学びに向かうような施策として、ワークショップ等の参加しやすい学びの形式が必要と考えます。

生涯学習で身に付けたことを地域や社会での活動に活かすためにどのようなことが必要か聞いたところ、「一緒に活動する仲間がいること」と回答した割合が最も高く、「身近に活動を行う場所があり、費用や時間の面でハードルが高くないこと」との回答も多くありました。また、「参加を呼びかける団体や地域のリーダーがいること」と回答した人も多くいました。

このことから、仲間との学びを地域づくりに発展させるためには、地域の中でそれぞれ活動するグループや団体を支援するとともに、グループや団体同士のつながりや、協働して活動できる学びの環境づくりが重要となります。

ライフステージにおける取り組み

地域との関わりは、ライフステージの段階によって様々に変化していきます。

乳幼児期・少年期には、家族以外の人間関係を学び、地域の行事やボランティア活動に参加するような機会があります。

青年期・壮年期では、自発的に地域と関わりを持ち、社会の一員として貢献することで人の役に立つことを学びます。

ライフステージに適した学びの機会をつくるとともに、未来の人材を育てるため、リーダーとしての資質や専門的な能力を高めようとする人に対して学習の機会を提供し、地域づくりの能力を養成することが必要です。

主な事業

事業種別	(※)番号	事業名	概要
学級の育成	151	市民学級	豊かな人間性を養い、仲間づくりを通して地域づくりを推進するため、市民が地区ごとに学級を組織します。地区公民館等を利用して、学習計画を立て、料理講習、健康体操講座、陶芸講座、生け花講座などの自主的な学習活動をします。
	152	高齢者学級	老年期にふさわしい社会能力を養い生きがいを見出し、社会の変化に対応する学習や社会奉仕等を、地域の実情に応じて展開します。

(※) 別冊『生涯学習を推進させる164の事業』における事業番号

事業種別	番号	事業名	概要
青少年の健全な育成	163	少年育成教室 「しまだガンバ！」	次世代を担う青少年が心身ともに健やかでたくましく成長するため、他校児童との交流や異年齢児童との集団活動等を通して、感性と創造性のある青少年の健全育成を図ります。
	164	はばたけリーダー	青少年リーダーとしての資質や専門的な能力を高めようとする者に対して、学習の機会を提供し、青少年リーダーとしての能力を養成することにより青少年の健全育成を図ります。
協働のまちづくりの推進	118	まちづくり支援事業交付金	市民が主体的に取り組む事業で公益性を有するものに対して、交付金を交付します。
	119	NPOの育成・支援	市民活動センターにおける貸室及び市民活動に関する情報収集・発信、相談、講座開催を行います。 しまだ楽習センターにおける社会貢献活動団体の減免を行います。
	132	まちづくり市民ワークショップ	まちづくりに対する市民の意識啓発を図ることを目的に、「協働」を念頭におき、身近なテーマで市民ワークショップ（意見交換会）を開催します。

その他の事業は別冊『生涯学習を推進させる164の事業』に掲載

推進計画 体系図

基本構想

わたしたちが自分らしく学び続けられるまち

めざす3つの姿

生涯学習を推進させる主な施策

<p>学びで 心豊かな 私になります</p>	<ul style="list-style-type: none">・しまだ楽習の推進・東海道金谷宿大学の活用・ボーイスカウト、ガールスカウトの支援・生涯スポーツの普及・読書活動の支援
<p>みんなの学びで こころを つなげます</p>	<ul style="list-style-type: none">・生涯学習の成果発表・家庭教育の推進・子ども会の支援・子育て支援団体の充実・市政出前講座の充実・スポーツ少年団の支援
<p>こころのつながりで 学びを活かし豊かな まちをつくります</p>	<ul style="list-style-type: none">・学級の育成・青少年の健全な育成・協働のまちづくりの推進

主 な 事 業

- ・しまだ楽習センター開講講座
- ・東海道金谷宿大学
- ・ボーイスカウト、ガールスカウト支援
- ・ニュースポーツ普及
- ・ジュニアスポーツクラブ
- ・紙芝居と絵本の読み聞かせ
- ・ブックスタート など

- ・フェスタしまだ
- ・子育て広場
- ・家庭教育学級
- ・子ども会支援
- ・子育て支援ネットワーク運営
- ・ふれあいしまだ塾
- ・スポーツ少年団支援 など

- ・市民学級
- ・高齢者学級
- ・少年育成教室「しまだガンバ！」
- ・はばたけリーダー
- ・まちづくり支援事業交付金
- ・NPOの育成・支援
- ・まちづくり市民ワークショップ など

生涯学習を推進させる164の事業（別冊一覧）

島田市生涯学習推進協議会要綱

(設置)

第1条 島田市における生涯学習を推進するため、島田市生涯学習推進協議会を置く。

(通称)

第2条 島田市生涯学習推進協議会（以下「協議会」という。）の通称は、「しまだ楽習推進協議会」とする。

(所掌事項)

第3条 協議会は、次に掲げる事項について、協議し、及び検討する。

- (1) 生涯学習推進のための計画案づくりに関する事項
- (2) 生涯学習推進のための調査研究、広報及び啓発に関する事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、生涯学習推進に関する必要な事項

(組織)

第4条 協議会は、委員15人以内で組織する。

- 2 委員は、市民及び市の職員のうちから市長が委嘱し、又は任命する。ただし、市長が特に必要と認めたときは、市民以外の者を委嘱することができるものとする。

(平19告示1・平成31告示14一部改正)

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第6条 協議会に会長及び副会長各1人を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 4 会長は、会議の議長となる。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代理し、会長が欠員のときはその職務を行う。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集する。

- 2 会長は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。

島田市生涯学習推進協議会要綱

(部会)

第8条 協議会に、必要に応じて部会を置くことができる。

- 2 部会に部会長及び副部会長各1人を置く。
- 3 部会長及び副部会長は、部会の委員の互選によりこれを定める。
- 4 部会は、部会長が招集し、部会長が議長となる。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、島田市教育委員会の事務局において処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この告示は、平成17年5月5日から施行する。

(経過措置)

- 2 この告示の公示の日以後、最初に選任される委員の任期は、第5条第1項本文の規定にかかわらず、平成19年3月31日までとする。
- 3 榛原郡川根町の編入の日以後最初に委嘱され、又は任命される委員の任期は、第5条第1項本文の規定にかかわらず、当該委嘱され、又は任命された日から平成21年3月31日までとする。

(平20告示98・追加)

附 則 (平成19年1月5日告示第1号)

この告示は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年3月31日告示第98号)

この告示は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月30日告示第71号)

この告示は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (平成31年1月31日告示第14号)

この告示は、公示の日から施行する。

島田市生涯学習推進協議会委員名簿

NO	役職	氏名	
1	会長	おざわ やすえ 小澤 康恵	島田市レクリエーション協会理事長 しまだガンバ指導会会長 他
2	副会長	にしむら じゅんいち 西村 純一	日本防災機構防災士 NPO川根動物愛護協会理事 他
3	委員	たなか せいじ 田中 清司	島田市青少年育成補導員 ボーイスカウト島田地区協議会会長 他
4	委員	こいけ さちこ 小池 幸子	しまだガンバ指導員 島田市レクリエーション協会理事 他
5	委員	ながや ひろこ 長屋 汪子	元 旧島田市生涯学習協議会委員 元 東海道金谷宿大学 学生代表役員
6	委員	あらなみ かすえ 荒浪 和江	元 島田第一小学校PTA学級委員 元 同広報委員 他
7	委員	とざわ ひろのり 登澤 広典	島田市子ども会連合会 相談役
8	委員	しらさか せいご 白坂 成吾	元 島田青年会議所理事長 元 同監事
9	委員	おおば たいすけ 大場 泰介	元 島田青年会議所理事長 元 同監事
10	委員	たざき いくみ 田崎 郁美	道悦島地区社会福祉協議会理事 元 島田市保健委員
11	委員	ふじい りゅういち 藤井 隆一	元 島田市青年サークル会長

委員コメント

小澤 泰恵 会長

みんなの思いが詰まった素晴らしい大綱です。「見やすく、分かりやすく、生き方の目安」となるよう、何回も話し合いました。「わたしたちが自分らしく学び続けられるまち」は、赤ちゃんの時代から人間らしく自分らしく学び続けて生きていくことです。『しまだ型人生区分』作成では、大学生や市民参加のワールドカフェで貴重な意見をいただき、「生き方の見直し・気づきの機会」となりました。市民の皆さんに是非読んでいただきたく、出前講座などで大綱をアピールしたい。学びは「気づき」から始まるのです。

西村 純一 副会長

旧大綱の検証作業で、地域の一芸に秀でた方を訪問しました。その時お会いした趣味で民芸品等を作成している80代の男性の「後継者に技術を伝承することだけでなく、まだまだこれからも新しい知識や技術を学んでいきたい」との言葉に、深い感銘を受けました。新大綱作成にあたっては、私たち一人ひとりがこの方の様にいくつになっても学ぶ意欲を持ち続けられたら、との気持ちも込めて作成しました。この新大綱が皆様の生涯学習の礎となれたら、と思います。

田中 清司 委員

あらたまって学習することだけでなく、「いつでも どこでも 一人でも グループ（趣味の会）でも 町内会班・組でも 自治会でも 出前講座や講演会・講習会・会議で、見たり、聞いたり、体験したことを、自分1人でなく、他の人々に伝え一緒に活動し、日常生活の中で一人ひとりが生きがいをもって生活し、人生の節目に次の節目を目指し、一日一日を大切に日々努力すること」が、生涯学習と考えます。

小池 幸子 委員

大綱作成の会議を重ねていく中でたくさんの気づきがあり、まさに生涯学習の一コマではないかと実感しました。新大綱は見やすく、読みやすく、分かりやすく年代別に区分され、今ある自分の道しるべになると確信しています。誰もがより自分らしく学び、歩み続けられる人生が実現できる、ひとつの拠り所として多くの方に読んでいただきたいです。

長屋 汪子 委員

これからの人生100年時代、いくつになっても学び続けて行こうと思う人たちを応援する「道しるべ」になるものをと考えて、皆で多様な意見を出し合って作成しました。分かりやすい言葉・文章・楽しいイラストにしたいと考えました。特に『しまだ型人生区分』には、私たちの想いがたくさんあります。策定に携わったことができ、とても嬉しく思っています。

荒浪 和江 委員

生涯学習推進委員として大綱作成に関わることができました。難しいながらも楽しかった会議は『しまだ型人生区分』作成です。職業・性別・年齢がそれぞれ違う委員、出てくる意見も様々です。生涯学習ならではの。私自身、これからの人生の参考にしたいと思います。社会教育課の方々、委員の皆様、ありがとうございました。

登澤 広典 委員

学習と言うと、何となく面倒、苦手といったイメージを持っている人も多いのではないのでしょうか。当初、自分も同じようなイメージを持っていましたが、様々な年代の人たちの話を聞き、人が成長していく中で、その時々に必要な考え方、家族や周囲の人たちとの関わりといった身近なものすべてが学習ではないかと感じるようになりました。この大綱が、皆さんの人生を豊かに充実させるためのヒントになっていただければ幸いです。

白坂 成吾 委員

私が今回の大綱作成にあたって心がけたことは、現在世間が漠然と抱える閉塞感に逆らった視点で参加させていただくということでした。あえて、昨日より今日、今日より明日がずっとよくなっていく未来を願い、思い描く視点で意見をさせていただいたつもりです。今回の大綱が、すべての世代の人達が「自分らしく学び続けられる」まちにつながってくれることを心より願っております。

大場 泰介 委員

4年間に渡り生涯学習推進協議会の委員を努めさせていただきました。島田市民がこころ豊かで笑顔あふれる未来になりますように、大綱を作成いたしました。是非冊子を手にとっていただき、生涯学習について少しでも考えるきっかけになっていただければ幸いです。私もこの協議会を通じて多くのことを学ぶことができました。協議会委員の皆様、社会教育課の御担当者の皆様、ありがとうございました。

田崎 郁美 委員

年齢や性別も様々な皆様と意見を活発に交換する機会は、とても貴重で、自分になり発想や考え方に触れられて、とてもよい経験をさせていただきました。自由奔放に出し合った意見が、読みやすい文章となり、素敵な絵が添えられ、形となったものを目にすると、何とも言えない嬉しさを実感します。この大綱が生涯学習に興味を持ってもらえるきっかけ作りになってくれれば、と思います。

藤井 隆一 委員

「人生区分」の目標例の話し合いでは、「人生、一生学び」が必要ということを知ることができました。現在の自分の年齢からでは、10～40年後は壮年期、40～60年後は高齢期と、はるか先の将来についての指針を先輩委員の方々の意見から勉強させていただきました。

策定の経緯・様子

年度	日時	名称	内容
平成 27 年度	5月～翌3月	平成 27 年度 島田市生涯学習推進協議会	全体会5回 作業部会2回
	6月	生涯学習についての研修会	講師：静岡大学生涯学習センター 阿部耕也助教授（当時） 参加者：協議会委員、社会教育委員、島田 工業高校生徒、教育委員会職員
	10月	第2次静岡市生涯学習推進 大綱について研修会	講師：常葉大学教育学部 猿田真嗣教授 参加者：協議会委員、教育委員会職員
平成 28 年度	5月～翌1月	平成 28 年度 島田市生涯学習推進協議会	全体会2回 作業部会5回
	6月	しまだ生涯学習アカデミー ワールドカフェ	講師：常葉大学教育学部 猿田真嗣教授 参加者：協議会委員、常葉大学教育学部学 生、教育委員会職員
	8月	しまだ生涯学習アカデミー フューチャーセッション	講師：東海大学社会文化学部 河井孝仁教授 参加者：協議会委員、東海大学社会文化学部 学生、島田商業高校学生、教育委員会職員
	3月	総合教育会議	大綱骨子中間報告
平成 29 年度	5月～翌1月	平成 29 年度 島田市生涯学習推進協議会	全体会7回
	9月	生涯学習に関する講演 ワールドカフェ	講師：常葉大学教育学部 猿田真嗣教授 参加者：協議会委員、社会教育委員、ペア レントサポーター、常葉大学教育学部学生、 教育委員会職員
平成 30 年度	5月～翌1月	平成 30 年度 島田市生涯学習推進協議会	全体会5回
	7月～8月	生涯学習に関する アンケート調査	対象者：公民館利用者等
	11月	社会教育委員会	策定に関する意見聴取
		教育委員会	
	12月～翌1月	パブリックコメント	案に対する意見の公募
	2月	総合教育会議	策定報告
	3月	島田市議会2月定例会	厚生教育常任委員会に報告

策定の様子

【島田市生涯学習推進協議会】



【ワールドカフェ形式による意見交換会】



平成31年3月
第2次島田市生涯学習推進大綱

発行：島田市教育委員会 社会教育課
〒427-0042
島田市中心5番の1
電話（0547-36-7962）



島田市
緑茶化
計画画

illust:nuuDesign